

京都市交響楽団 特別演奏会

情熱の チャイコフスキー ガラ

The Special Concert of the
City of Kyoto Symphony Orchestra
"Passionate Tchaikovsky Gala"



指揮 広上 淳一 (常任指揮者兼芸術顧問)
Conductor: Junichi Hirokami (Chief Conductor & Artistic Advisor)



ピアノ 岡田 奏
Piano: Kana Okada



チェロ 佐藤 晴真
Cello: Haruma Sato



ヴァイオリン 三浦 文彰
Violin: Fumiaki Miura

本公演は、新型コロナウイルス感染症を巡る状況に鑑み、出来る限りの徹底した感染防止策を講じた上で開催いたします。何卒ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。
※本公演と同日程で開催を予定しておりました「第九コンサート」は中止となりました。

©井上写真事務所 井上嘉和

2020
12/26^土

午後6時開演 (午後5時開場)
Saturday, December 26, 2020 / 6:00PM

12/27^日

午後2時30分開演 (午後1時30分開場)
Sunday, December 27, 2020 / 2:30PM

京都コンサートホール

Kyoto Concert Hall

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075)222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075)711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

チャイコフスキー:

ピアノ協奏曲第1番変ロ短調op.23
ロココの主題による変奏曲イ長調op.33~チェロと管弦楽のための
ヴァイオリン協奏曲ニ長調op.35

Tchaikovsky:

Concerto for Piano and Orchestra No.1 in B-flat minor op.23
Variations on a Rococo Theme in A major op.33 - for Cello and Orchestra
Concerto for Violin and Orchestra in D major op.35

2020 11/7^土から発売

入場料 **S**¥5,500 **A**¥5,500 **B**¥4,500 **C**¥3,000 **D**¥2,000 (舞台後方席)

プレイガイド
(電話予約)

- ・京都コンサートホール (075) 711-3231
- ・ロームシアター京都 (075) 746-3201
- ・24時間オンラインチケット購入 <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- ・チケットぴあ (0570) 02-9999 Pコード167-998
- ・ローソンチケット (0570) 000-407 Lコード54379

◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。

京都コンサートホール・ロームシアター京都のみ取扱います。(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「託児ルーム」は受付を中止しております)。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



主催: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

京都市

協賛: ローム株式会社

協力: 株式会社ドルチェ楽器

後援: (株)エフエム京都

発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



指揮 広上 淳一 (常任指揮者兼芸術顧問)
Conductor : Junichi Hirokami (Chief Conductor & Artistic Advisor)



東京生まれ。東京音大指揮科に学ぶ。26歳で第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放送、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、コロンバス響のポストを歴任。近年では、ホルティモア響、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ヴェルディ響、サンクトペテルブルク・フィル、バルセロナ響、モンテカルロ・フィル、サン・パウロ響、ニュージーランド響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管にもたびたび招かれ絶賛を博している。オペラの分野でもシドニー歌劇場へのデビュー以来、数々のプロダクションを成功に導いている。2013年「第32回藤堂音楽賞」、2015年京響とともに「第46回サントリー音楽賞」、2016年「第36回有馬賞」を受賞。2019年度「京都市文化功労者」。東京音楽大学教授。京都市立芸術大学客員教授。2008年4月から京都市交響楽団第12代常任指揮者。2014年4月からミュージック・アドヴァイザーも兼務。2017年4月からは札幌交響楽団友情客演指揮者も務める。2020年4月から京都市交響楽団第13代常任指揮者兼芸術顧問、及び京都コンサートホール館長に就任。

2019年、長い伝統と権威を誇るミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集めた。18年には、ルトスワフスキ国際チェロ・コンクールにおいて第1位および特別賞を受賞している。98年名古屋市出身で、現在その将来が最も期待される22歳の新進気鋭のチェロ奏者。第67回全日本学生音楽コンクールチェロ部門高校の部第1位および日本放送協会賞、第83回日本音楽コンクール チェロ部門第1位および徳永賞・黒柳賞など、多数の受賞歴を誇る。すでに国内外のオーケストラと共演を重ねており、「サントリーホールCMGオンライン」など室内楽にも積極的に活動している。18年8月には、ワルシャワにて「ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に出演。19年12月には、本格デビューとなるリサイタル公演を成功裡に終える。20年は、プラハ放送響、日本フィル、新日本フィル、東京フィルなど国内外のオーケストラに招かれており、リサイタルも予定されている。16年度東京藝術大学宗次特待奨学生。18年度ロームミュージックファンデーション奨学生。19年度第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、20年第30回出光音楽賞受賞。ベルリン在住。

京都市交響楽団 City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーを開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞受賞。2017年4月から下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立。2020年4月からは新指揮者体制として、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッドが就任し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



©井上真由路 井上真由

ピアノ 岡田 奏 Piano : Kana Okada



©kazashito Nakamura

函館市生まれ。15歳で渡仏し、パリ国立高等音楽院でフランク・ブラレイに師事。プーランク国際ピアノ・コンクール第1位、ピアノ・キャンパス国際コンクール第1位、エリザベート王妃国際音楽コンクールのファイナリスト。これまでに、ベルギー国立管、シモン・ボリバル響、読響、東京フィル、東響、日本フィル、札幌、仙台フィル、名古屋フィル、中部フィル、京都市響、関西フィル、兵庫芸術文化センター管、広島響、静岡響等のオーケストラと、マティアス・パーメルト、セバスティアン・ヴァイグレ、マリン・オールソップ、ポール・メイエ、ヘルムート・ライヒェル・シルヴァ、クリスティーナ・ポスカ、小林研一郎、尾高忠明、広上淳一、高関健、山下一史、山田和樹、円光寺雅彦、大井剛史、栗辻聡等の指揮者と共演している。サントンジュー・ピアノ・フェスティバル、ラ・フォル・ジュルネTOKYO、パリのショパン・フェスティバル等に出演するほか、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」および「きらクラ!」、名曲アルバム等に出演。2018年、デビュー・アルバム『Souvenirs—フランス作品集』をトリトーン・レーベルよりリリース。

チェロ 佐藤 晴真 Cello : Haruma Sato



©Tomoko Hidak

2019年、長い伝統と権威を誇るミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集めた。18年には、ルトスワフスキ国際チェロ・コンクールにおいて第1位および特別賞を受賞している。98年名古屋市出身で、現在その将来が最も期待される22歳の新進気鋭のチェロ奏者。第67回全日本学生音楽コンクールチェロ部門高校の部第1位および日本放送協会賞、第83回日本音楽コンクール チェロ部門第1位および徳永賞・黒柳賞など、多数の受賞歴を誇る。すでに国内外のオーケストラと共演を重ねており、「サントリーホールCMGオンライン」など室内楽にも積極的に活動している。18年8月には、ワルシャワにて「ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に出演。19年12月には、本格デビューとなるリサイタル公演を成功裡に終える。20年は、プラハ放送響、日本フィル、新日本フィル、東京フィルなど国内外のオーケストラに招かれており、リサイタルも予定されている。16年度東京藝術大学宗次特待奨学生。18年度ロームミュージックファンデーション奨学生。19年度第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、20年第30回出光音楽賞受賞。ベルリン在住。

ヴァイオリン 三浦 文彰 Violin : Fumiaki Miura



©Yuji Hori

2009年世界最難関とも言われるハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。3歳よりヴァイオリンを始め、6歳から徳永二男氏に師事。ロサンゼルス・フィル、ロイヤル・フィル、マリンスキー劇場管、チャイコフスキーシンフォニーオーケストラ、NDRエルプ・フィル、ハノーファーNDRフィル、シュトゥットガルト放送響などと共演などと共演。共演した指揮者にはゲルギエフ、ドゥグメル、フェドセエフ、ズーカマン、フルシヤなどが挙げられる。また、サンクトペテルブルクの白夜祭、宮崎国際音楽祭などにも招かれ、リサイタルではレーブルでパリ・デビュー、ウィグモアホールでロンドン・デビューを果たす。NHK大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽を演奏したことやTBS「情熱大陸」への出演は大きな話題となった。18年10月からスタートしたサントリーホールARKクラシックスではアーティストック・リーダーに就任。19/20シーズンは、ズーカマン指揮バルセロナ響、ティチャーティ指揮ベルリン・ドイツ響、ロウヴァリ指揮エーテボリ響、オロスコ=エストラーダ指揮フランクフルト放送響、ポーガ指揮ケルン放送響、ダウスゴウ指揮BBCスコティッシュ響などと共演。今後もピリスとのデュオ、ズーカマンとの室内楽、スペインや日本でのリサイタルツアーが予定されるなど国際的活動の場を広げている。CD録音は、エイバックスよりリリース。使用しているヴァイオリンは、宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス1704年製作「Viotti」。

ご来場のお客様へ：新型コロナウイルス感染拡大防止に関してのご理解とご協力のお願い

以下の症状があるお客様はご来場をお控えください

- ・37.5度以上の発熱、風邪の症状(咳、くしゃみ、頭痛、鼻づまり、喉の痛みなど)、強いだるさ(倦怠感、筋肉痛・関節痛)や息苦しさ(呼吸困難)、味覚・嗅覚障害がある方。37.5度を超える発熱がある方はご入場をお断りしますので、ご了承ください。
- ・身近に新型コロナウイルス感染症の感染者や濃厚接触者などがいる方。
- ・基礎疾患をお持ちの方、妊娠中の方は関係機関の情報を参考にいただき慎重なご判断をお願いいたします。

ご来場される際は以下にご協力ください

- ・マスクのご着用および咳エチケットにご協力をお願いいたします。マスクを着用されていないお客様はご入場をお断りする場合がございます。
- ・ご自身の顔(目、鼻、口など)を触る行為にお気をつけいただくとともに、頻繁に手指の消毒・手洗いをお願いいたします。
- ・ホール内では、開演前・終演後のご挨拶をお控えください。

公演当日のホールにおける感染症拡大防止・予防への対応

- ・ホール入口では非接触体温計を用いて、すべてのご来館者様の検温を実施いたします。
- ・ホール内の換気をより強化し、外気取入れによる換気を行います。
- ・ホール内各所にアルコール消毒液を設置するとともに、手すりなどのホール内消毒を強化いたします。
- ・客席の間隔、演奏者の間隔、お客様と演奏者との間隔は十分な距離を確保いたします。
- ・プログラム等の手渡しでの配布はいたしません。ご自身でお取りいただけますようお願いいたします。
- ・出演者・関係者・スタッフは自宅での検温やマスクの着用、手指消毒を徹底します。体調のすぐれないスタッフがいた場合は、そのスタッフが当日の運営を行うことはございません。
- ・スタッフも、お客様へのお声がけをできる限り控えさせていただくことを、あらかじめご了承ください。